

医療法人財団献心会川越胃腸病院 環境基本方針・指針

制定：平成8年4月1日

改定：平成12年11月1日

【環境基本方針】

当医療法人財団献心会川越胃腸病院は消化器科専門病院として「高水準の専門医療技術をもって、患者様の立場にたった心温かい医療サービスを提供すること」を事業基本方針に掲げている。

この基本方針に基づき、患者様の健康管理に関わる医療機関として、あらゆる活動面において「地球環境にやさしい」環境保全に配慮した取り組みを通じ、健康で豊かな地球環境・人類社会の実現に貢献する。

【環境基本指針】

- 1) 当院が医療活動を行う上で、全職員は「地球環境の保全ならびに人類の健康・安全確保のための視点」を常に念頭に置いて業務に取り組む。
- 2) 環境関連の法律・規則・協定などを遵守し、一層の環境保全に取り組む。
- 3) 病院環境整備において、院内感染防止対策、並びに院内全域が清潔で快適な空間であるよう、常に整備を行う。
- 4) 省資源、省エネルギー、3つのR(リサイクル・リユーズ・リデュース)、廃棄物の削減についてはエコホスピタル委員会(医療サービス対応事務局)を中心として組織的且つ継続的に取り組む。
- 5) 環境教育・院内広報活動等を実施し、全職員の環境基本方針の理解と環境に関する意識向上をはかる。
- 6) 薬品・医療消耗品・医療器具等の購入・使用にあたっては、環境保全に配慮した取り組みを行っている企業からの製品購入を促進(グリーン調達)するとともに、製造メーカーへは消費者の視点からの提言(省資源・リサイクル・製品安全)を、積極的に行っていく。

以上

医療法人財団献心会川越胃腸病院
医療サービス対応事務局